



いなほ



令和3年11月12日
令和3年度学校だよりNO.31①
加古川市立平荘小学校

6年生が修学旅行に行ってきました

11月9日(火)・10日(水)に、6年生が広島に修学旅行に行ってきました。目的は、平和学習とルールを守り友達と協力することです。

《1日目》

1日目は、原爆ドーム・原爆の子の像・原爆慰霊碑・平和記念資料館等を見学しました。その後、原爆体験講話を聞きました。宮島口港からフェリーで宮島に渡り、厳島神社を参拝した後、宮島商店街で楽しみにしていたお買い物タイムです。夜は、グランドプリンスホテルで宿泊しました。



6:20 学校集合・健康観察・出発式

保護者の皆様、早朝よりお弁当の用意やお見送りをどうもありがとうございました。



10:30 広島到着

世界文化遺産(負の遺産)の原爆ドームを見学した後、原爆の子の像の所で、平和セレモニーをしました。全校生で平和を願って折った千羽づるを捧げてきました。

世界中から核兵器が無くならない限り、灯が消えないんだ！
核兵器廃絶！世界平和を！



原爆慰霊碑・平和の灯・原爆ドームと、一直線上に配置されていました。

安らかに眠って下さい 過ちは繰り返しませんから



愛情いっぱいのお弁当です。おいしかったです。



《語り部さんの話を聞いて》

戦争は、人と人が殺し合いをしている。日本は原子爆弾を落とされたけれども、日本も人を殺している。

原子爆弾は、家や町を燃やし、人の幸せまで奪ってしまった。死にたくて死んだ人は一人もいない。生きてやりたいことがいっぱいあった。夢があった。戦争は、夢が叶えられない。何も悪いことをしていないのに、たった一発の原子爆弾によって、夢・希望・未来を奪われてしまった。私は生き残ったけれども、家族をなくした。私にできることは、みんなが平和に過ごせるようにするには、原子爆弾のことを知ることから始まる。